

七天王塚3号塚の史跡範囲確定について

1. 文化財の概要

(1) 文化財の名称

猪鼻城跡（含七天王塚）（昭和35年3月9日 千市史第1号）

(2) 指定年月日（指定書番号）

昭和35年3月31日（千市史第1号）

(3) 指定範囲

千葉市中央区亥鼻1―2 4他 亥鼻公園内・千葉大学構内

(4) 所有者

千葉市・国立大学法人千葉大学

(5) 七天王塚の概要

猪鼻旧城跡内の千葉大学医学部構内及びその付近にある古塚で、構内に5箇、県道を隔てて民家の間に2箇、合せて7箇、その内1箇は瓢形であるが、他は皆円形で、一、二を除く他は塚の中央に各々樹齢数百年を経過し、いずれも天を突く老松が一株あり、周囲は常緑樹をもって取り囲んでいる。また、その内4箇には安永2年建設の「牛頭天皇 大治元年丙午六月朔日平常重代」の文字を刻した碑と、明治10年丑の8月建設の「牛頭天皇」の碑があるが、千学集には「千葉の守護神は曾場鷹大明神 堀内牛頭天皇云々」とある。この由緒については定説はないが、あるいは塚の配置があたかも北斗七星に似て、しかもその位置が猪鼻城の鬼門に当たる所より、築城の際、鬼門除けのための北斗七星を祀れるものか、けだし上代の豪族の古墳と見るのが妥当であろう。

（指定時の説明書類から抜粋）

2. 指定範囲の現状について

7基の塚のうち、宅地内に残る2基は市が所有し、文化財課で管理・公開している。残る5基は千葉大学医学部構内にあり、同学で管理・公開している。

市有である1号塚・2号塚の2基については、周囲の所有者との境界立会等を経て境界を確定し、指定範囲が定まっているが、大学構内にある5基は明確な範囲を定めていない。

今回、3号塚について現況の詳細測量調査および範囲確認のための発掘調査を行った。これに基づいて史跡指定範囲の確定を行いたい。

3. 3号塚の現況測量調査及び埋蔵文化財試掘調査

(1) 現況測量調査

平成29年8月 3号塚・7号塚を対象に詳細測量調査(10cm等高線)を実施した。

- ・別添 七天王塚【3号塚】現況平面図
- ・別添 七天王塚【7号塚】現況平面図

(2) 発掘調査

平成29年12月 上記測量調査を基に、遺構の範囲を確認するため3号塚を対象として以下のとおり最小限のトレンチ発掘調査を実施した。

- ・試掘1 トレンチ 1m×2m 1か所

土墨状の高まりと墳丘の関係を確認するため、塚の南側に設定。

現地表面の80cm程下で、塚の構築土と考えられる土層を確認した。

塚の中心から4.6mの位置から南側は攪乱を受けている。

- ・試掘2 トレンチ 1m×4.5m 1か所

周囲の堆積状況確認のため、塚の東側に設定。

現地表面から、1m程度まで、現代の盛土が確認された。S40年代のビン・缶類を含んでおり、ローム層も確認できない。全面が攪乱をうけている。

- ・別添 3号塚 トレンチ配置及び指定範囲図・断面図 調査写真
- ・別添 3号塚 平面図・断面図

4. 3号塚の史跡範囲について

上記の調査から得られた結果に基づき、3号塚の史跡指定の範囲は、基本的に塚の頂点から半径6mの範囲とし、大きく攪乱を受けている南側については、頂点から4.6mで道路に沿うラインを範囲から減じるものとする。

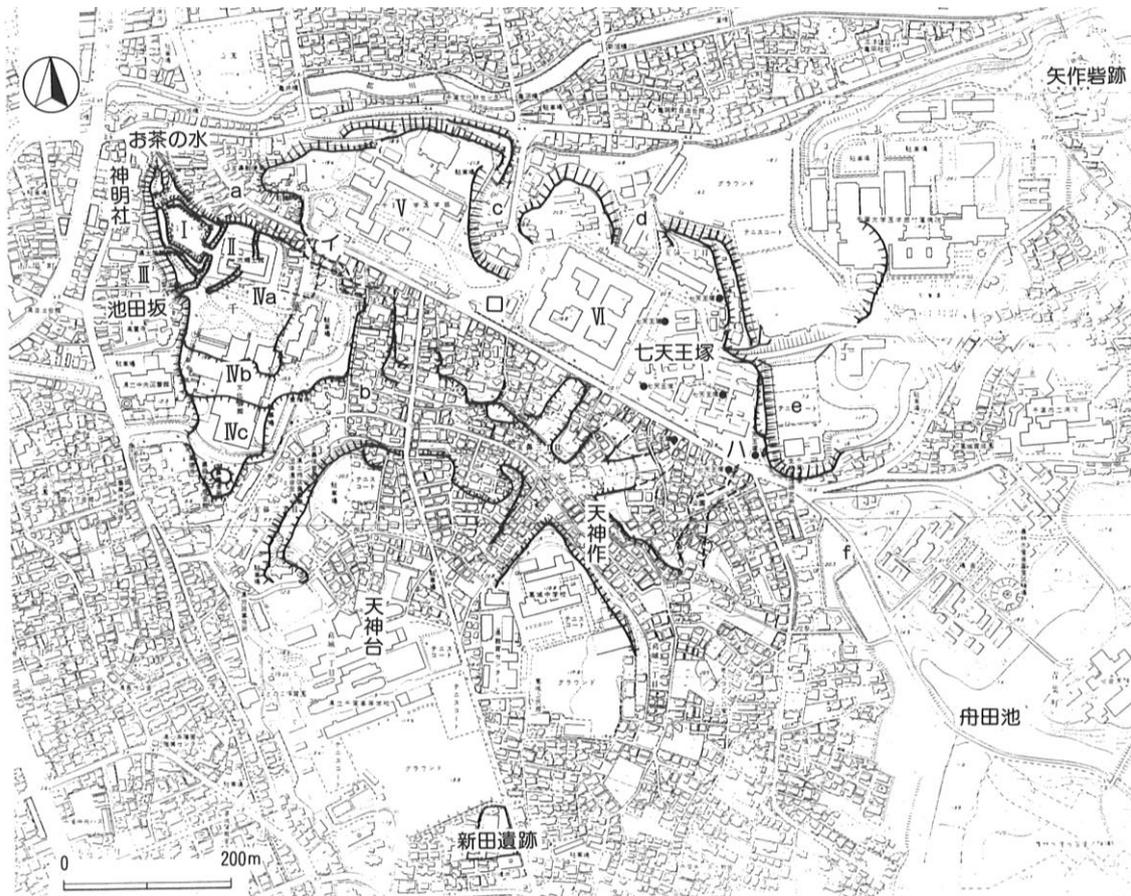


图1 猪鼻城概念图



图2 七天王塚配置图